

地理情報科学ゼミ / 中村 優翔(学生の声)

はじめに

地図に記載されるような情報をコンピュータによって効果的に視覚化・分析する方法を学び、それを活用して、望ましい地理・都市空間のあり方を探ります。

新たな興味を引き出してくれる、 個性的な教員たちも魅力

1年生のときに参加したむつ市でのインターンシップを通して、地域の人がどんなことに興味を持っているかなど、そこに住む人達について考えることが性に合っていると感じて地域行動コースを選択しました。

本コースの特色はインタビューや社会調査の技法を学べる点だと思います。地域社会の問題を調べるうえでは偏りのない統計を行うことが重要で、正しい調査方法を身につけていれば、その地域でのニーズや問題を正確に把握することができます。

私は統計ソフトでプログラミングをしながら地理空間データの分析をしています。例えば、防犯に役立つコオを念頭に、青森県内で発生した犯罪のオープンデータを地図に落とし込む可視化を行っています。このように可視化された結果を元に、こうなった原因を考えることに面白さを感じています。



ゼミでの様子。論文を読む機会が増えたので、論理的に物事を考える力と、他者目線の思考が想像できるようになりました。

